



2011年10月 第354号

# スズキ労連

第40回  
定期大会  
特集号

静岡県浜松市南区増楽町20  
電話(053)447-3079  
スズキ関連労働組合連合会

発行人 加藤幸博  
編集人 小杉 尚

## 第40回定期大会開催

「明るい未来への一歩」に向け、  
後半期がスタート!!

スズキ労連は、9月16日(金)にSUN会館3F大ホールにて第40回定期大会を開催し、加盟労組・支部から代議員145名(男性、143名、女性2名)、傍聴者12名(男性10名、女性2名)が参加しました。コ今大会は昨年開催した第39回大会で決定した2年間の運動方針の中での中間大会にあたります。大会内では前半1年間の活動を振り返るとともに、役員補充選挙と第40期予算案などの議件が審議され、いずれも満場一致で可決決定されました。

スズキ労連では今大会を、スローガンに掲げた「明るい未来への一歩」に向けた再スタートの日として捉え、厳しい情勢下において労働組合としての社会的役割をより一掃自覚した上で、後半1年間の活動を推進してまいります。引き続き皆様のご理解とご協力を宜しくお願いいたします。



冒頭、加藤会長が執行部代表の挨拶。

### 参加者

代議員145名(男性143名、女性2名) 傍聴者12名(男性10名、女性2名) 来賓2名 顧問1名 執行部30名 書記2名

### 議 件

- 1) 第40期役員定数 役員選挙の件
- 2) 顧問委嘱の件
- 3) 第40期予算(案)の件

### 報告承認事項

- 1) 第39期活動経過報告
- 2) 第39期会計決算報告
- 3) 第39期会計監査報告

### 各種委員 ☆印は各委員長

#### ◎議長団:2名

相河 弘徳 <スズキ輸送梱包労組>  
山口 健 <スズキ労組 湖西支部>

#### ◎書記:2名

増田 晴彦 <ベルソニカ労組>  
青葉 美奈子 <スズキ労連>

#### ◎資格審査委員:4名

☆池富 彰 <スズキ労連副会長>  
山村 浩之 <スズキ精密工業労組>  
藤中 英之 <小楠金属・熱処理労組>  
佐貫 武志 <遠州精工労組>

#### ◎議事運営委員:4名

☆野沢 卓志 <スズキ労連中執>  
牧野 正人 <スズキ部品秋田労組>  
馬淵 浩之 <スズキ部品富山労組>  
古田 貴裕 <岐阜スズキ労組>



議長団 右:相河 弘徳<スズキ輸送梱包労組>  
左:山口 健<スズキ労組 湖西支部>

## 来賓のごあいさつ



自動車総連 会長 西原 浩一郎 様



連合静岡 会長 吉岡 秀規 様

大会の来賓として、自動車総連の西原会長、連合静岡の吉岡会長にご臨席を賜りご祝辞を頂きました。

自動車総連の西原会長からは、東日本大震災の被災者支援活動(緊急カンパ・ボランティア活動・電力振替)のお礼と自動車総連としての取り組みについて、超円高状況にある日本経済に対する自動車労連の対応と自動車産業の現状、政策制度課題とりわけ自動車関係諸税見直しの取り組みが佳境に来ており、より一掃の取り組み推進の願いがなされ、自動車産業を取り巻く厳しい環境を乗り越えるためにさらなる連帯強化が呼掛けられました。

連合静岡の吉岡会長からは、日頃からの連合静岡の活動に対する協力に対するお礼、日本の社会の現状(自己中心主義や制度の悪用)、連合の労働相談で相談される例を通じて静岡県の現状や雇用創出に向けた連合の活動についてご挨拶をいただきました。

## スズキ労連 加藤会長の挨拶



本日の大会は、この1年間の活動の検証をするともに、現状認識と課題認識を新たにしながら、向こう1年間の運動をみんなで確認する大会です。

率直な意見交換を通じて、心ひとつに実りある大会となりますように、よろしくお祈りいたします。

### 東日本大震災への対応

3月11日に発生した東日本大震災によって、尊い生命を奪われた方々に心から哀悼の意を表します。また、被災されたすべての皆様にお見舞いを申し上げますとともに、一日でも早く復興し、平穏な日々が戻りますようにお祈りいたします。

今回の震災に際して、スズキ労連では震災の重大性の認識合わせをするともに、速やかに連合や自動車総連の取り組みに参画し、できうる限りの被災者支援と復興支援をしていくことを決定いたしました。

そして、これまで現地での復興支援として、4月8日の第2陣から今日の第23陣まで、災害ボランティアを派遣し、カンパ活動においては、スズキ労連全体で31,056,962円を結集し、そのうち12,775,000円を自動車総連に送らせていただきました。

自動車総連全体では各労連から約4億円が結集され、被災した組合員や家族への見舞金として活用いただくとともに、被災地に車両34台・発電機8台を寄贈いたしました。

また、1,828万円をスズキグループ内で犠牲遭った遺族の皆様と家屋の被害に遭った皆さんへの義捐金として620万円、岩手、宮城、福島、茨城県の在住の皆さんに見舞金と見舞い品(うなぎパイ・新茶)として1,033万円を活用させていただき、残金の1,718,418円につきましては、日本赤十字社に寄贈していくように進めていきます。

3月11日以降、被災状況の把握から現地に出向いての復興支援、カンパ活動に対して、心から御礼申し上げます。

### 復興にむけて

今回の震災は、その被害が広域に及ぶだけでなく、大規模な地震と津波に加えて、原子力事故が重なるという甚大な複合災害であり、その影響は日本の社会や産業に広域に及んでいます。

今後も、私たちは心をひとつにして、この国家的な

危機を乗り越え、復興や生活の再生をしていかなければなりません。

ひとり一人の力は小さくとも、スズキ労連、自動車総連、連合と輪を広げる中から、出来る限りの支援をしていくことを確認していきたいと思えます。

また、同時に忘れてはいけないことは、こうした急性な課題ばかりではなく、例えば、65歳以上の人口比率が世界一となった少子高齢化の課題やジャパンパッシングは、震災以前から進行していた課題であり、震災からの復興は、こうした慢性的な課題といった視点を持ちながら対応をしていく必要があります。

### 自動車産業の活力を維持する必要性

日本経済の再生を図っていくためには日本の就労人口の内532万人を占めている、自動車産業の活力の維持と強化をしていくことは不可欠です。

現在の自動車産業は、国内市場の縮小に加えて、この急激な円高や震災後の電力対応など経営を取り巻く環境は悪化しており、このままの状態を放置すれば、国内産業の空洞化によって日本の経済に大きな打撃を与え、ひいては我々の雇用や生活の安定を脅かす結果となっていく懸念があります。

こうした中で、産業の維持と日本経済の再生に向けて、2重課税をはじめとした税の公平性や家計負担の軽減、雇用の確保の観点から、年末に向けて自動車関係諸税の軽減・簡素化に向けての取り組みを、産業全体での取り組むとして進めてまいります。

また、軽自動車に関する税につきましては、スズキ労連として極めて大きな雇用課題として捉え、責任ある考え方や意見を発信してまいります。

### 1年の活動を振り返り

この1年間の活動のお礼と報告をさせていただき、今後の活力につなげていきたいと思えます。

ひとつは、この4月に行なわれた統一地方選挙において、田口章を静岡県議会議員、徳光卓也を浜松市議会議員として送ることができたことです。震災後の中で、多くのご苦勞をかけましたが心から感謝を申し上げます。

二つ目は、今年の春の取り組みにおいて、昨年引き続き9組合が所定労働時間の短縮を実現したことです。このことは、労働時間の短縮の実現と同時に、今後の労連共闘や連携のあり方、労使議論のあり方の充実につなげていけるものと思っています。

三つ目は、この6月に自販中部に労働組合が結成され、新たにスズキ販売労組に49番目の支部として加入をしたことです。仲間を増やす活動については、現在

も自販鹿児島とスズキ化成への取り組みを進めていますが、今後も常に「すべての働くものを一人にしない、させない」そのためにどうするかという視点に立って取り組みを進めてまいります。

これまでの仲間を増やす活動を通じて、47都道府県のうち44の都道府県にスズキ労連の加盟組合ができました。これまでは結成して間もないこともあり、内部体制の確立を主体にしてきましたが、各県には、自動車総連や連合の地域協議会があり、それぞれの地域においてもその役割が求められています。

例えば、自動車総連が開催するナイスハートふれあい広場も、この9月23日は滋賀、10月には2日に富山、9日熊本、19日和歌山、11月には5日に茨城、静岡、9日は大阪、12日埼玉、愛知、15日鳥根、20日佐賀、26日東京というように全国で行われております。

今後、労連として全国を結ぶネットワークの要としての役割と責任を果たしていきたいと考えています。

### 結成40周年と今後の運動に向けて

スズキ労連は来年の2012年9月に結成40周年を迎えます。結成当初、6組合9,500人でスタートしたスズキ労連も幾多の変遷を経て、現在では16組合25,500名の組織に成長することができました。

この40年の歴史を踏まえながら、多くの先輩や仲間たちの体験に培われた今日のスズキ労連の運動基盤に自信と確信を持ち、不透明・不確実な時代の中で、今

後の運動の方向性を正しく読み取りながら、環境変化に的確に対応していかなければなりません。

今、日本は極めて厳しい局面にあります。そして、これまでの築いてきた前提が前提でなくなることもあるかもしれません。しかし、そうした中であっても、働く者の雇用と生活を守り抜き、社会的な責任を果たしていくことを、仲間と労使で日々確認しながら地道に取り組みを進めていくことが大切です。

また、今回のVWとの関係について、一つだけいえることは自主独立という自分たちのことは自分たちで決めていくという、気概と深い思いであり、このことを働く者の立場で重く感じながら、実直に、労使で車の両輪の役割を果たしていただきたいと思います。

### 最後に

寒松千丈ということわざや、論語にも松の緑を例にした話があります。松の緑は、春や夏、秋には目立たないが、厳しい冬になってはじめて、松の緑に気がつくというものです。節義を重んじ、常に堅実で地道な活動を大切にしながら、厳しい時にこそ頼りにされる、存在感のあるスズキ労連を目指していただきたいと思います。

最後に、スズキ労連のますますの発展を心から祈念を申し上げ、挨拶とします。

## 議件

### 1)第40期役員定数 役員選挙の件

挙手にて承認(満場一致)

- 第40期役員定数
  - ・会長1名(専従→非専従)・副会長4名(変更なし)
  - ・中央執行委員17名(変更なし)・上部組織派遣役員3名→4名

- 第40期役員補充選挙
  - ・選挙区分 会長1名、副会長2名、中央執行委員2名  
上部組織派遣役員1名
  - ・任期 第40期
  - ・選挙運営 選挙管理委員会に委嘱する。

### 2)顧問委嘱の件

拍手にて承認

- スズキ労連 政治顧問
  - 田口 彰 静岡県議会議員
  - 徳光 卓也 浜松市議会議員

- スズキ労連 特別顧問
  - 加藤 幸博



提案者の山本(満)副会長



提案者の秋場副会長

### 3)第40期予算(案)の件

挙手にて承認(満場一致)

#### 質疑

Q. 文体活動費について増額の経緯と活動内容について説明下さい。

A. 昨年の大会で労連賞を設定させていただいた。スズキ労連加盟単組・支部全てに労連賞を支給した場合、約140万円必要であり、そのため増額となった。



質問者 スズキ精密労組増井さん



執行部答弁 堀副事務局長

Q. 労連賞の増額であっても更に、100万以上の予算が計上されている。その理由をお聞かせ下さい。

A. 残りの金額はスズキ労連で文化行事を検討しており、独自開催するための費用となっております。



質問者 スズキ労組西條さん



執行部答弁 根木事務局長

Q. 文化行事の予算とのことですが、全国規模となったスズキ労連では独自開催行事はやらないとのことでしたが、どのような内容のものですか？

A. 文化的な内容、例えばILECに準じた内容をイメージしており、今後検討してまいります。

要望 文体行事に関して、スズキ労連全体で行わない、各単組・地域ごとに連携を取りながらおこなっていく方向であると思いますが、前半期では活動が出来ていない状況ですので、今後、個別単組・地位ごとが連携して文体活動を活発に行うように、労連で進めていただきたい。

Q. 予算では、今期3,000万円ほど増えていますが、支出・繰越金をみると前期並であり全て消化しても、執行率は77%です。活動として消極的ではないか？執行率が100%となるような活発な活動をお願いしたい。また、予算を立てるとき、執行率が上がる目玉となり誰もが和めるような活動を来期に盛り込んでいただきたい。

A. 皆さんから取めていただいた大切な会費です。中身をいかに充実した活動にするかに主眼をおいて予算立てし、取り組みを進めてまいります。



質問者 スズキ労組笠原さん



執行部答弁 根木事務局長

## 報告承認事項

### 1)第39期 活動経過報告(提案者 根木事務局長)

質疑応答なし

拍手にて承認



活動経過報告を提案する根木事務局長

### 2)第39期 会計決算報告(提案者 堀副事務局長)

#### 質疑

Q. 中央執行委員会費決算が、予算に比べて公共施設等の使用により1/3程度になっており、今後も今期同様に経費を削減し今期実績並の予算立てをお願いしたい。

(質問者 スズキ労組西條さん)

A. 助言として承っておきます。

(執行部答弁 根木事務局長)

拍手にて承認



会計決算報告を提案する堀副事務局長

Q. 政策制度基金の用途についてお聞かせ願いたい。

(質問者 スズキ労組西條さん)

A. 3年毎に実施している自動車総連の政治活動に対する拠出です。組合員数に対して会費を納めています。

(執行部答弁 根木事務局長)

### 3)第39期 会計監査報告(提案者 中谷会計監査人)

拍手にて承認



会計監査報告を提案する中谷会計監査人

# 役員選挙結果

役員退任・辞任にともない第40役員補充選挙が行われました。選挙は定員数と立候補者数が同数であったため信任投票が行われ、有効投票数146、信任142、白票4で信任多数により、新たに役員が選出されました。

立候補区分	定数	候補者氏名	現職	出身労組	結果
会長	1	古川 正明(新)	副会長	スズキ労組	信任
副会長	2	後藤 智彦(新)	中央執行委員	スズキ販売労組	信任
		野沢 卓志(新)	中央執行委員	スズキ労組	信任
中央執行委員	2	鈴木 紀充(新)	スズキ販売労組書記次長	スズキ販売労組	信任
		松浦 信司(新)	スズキ労組磐田支部長	スズキ労組	信任
上部組織派遣役員	1	池富 彰(新)	副会長	スズキ労組	信任



古川 新会長



後藤 新副会長



古川 新副会長



松浦 新中央執行委員



鈴木(紀)新中央執行委員



池富 新上部組織派遣役員

# 第40期の新役員体制スタート!

役職(役職名)	氏名	出身労組
会長	古川 正明(新)	スズキ労組
副会長	秋場 和彦	平岡ボデー労組
	山本 満	スズキ部品浜松労組
	後藤 智彦(新)	スズキ販売労組
	野沢 卓志(新)	スズキ労組
事務局長	根木 一暢	スズキ労組
副事務局長	堀 吉伸	小楠金属熱処理労組
	小杉 尚	スズキ労組
中央執行委員	平塚 訓孝	スズキ輸送梱包労組
	菅沼 伸好	スズキ精密工業労組
	嶋田 満	スズキ部品秋田労組
	遠藤 登	スニック労組
	太田 賢司	エステック労組
	鷲塚 三樹	スズキ部品富山労組
	山本 寿	浜松パイプ労組
	坂本 幸雄	遠州精工労組

役職(役職名)	氏名	出身労組
中央執行委員	佐藤 真一	ベルソニカ労組
	白井 康晴	小楠金属・熱処理労組
	杉本 和義	岐阜スズキ労組
	乾 一成	スズキ販売労組
	鈴木 紀充(新)	
	松浦 信司(新)	スズキ労組
武藤 憲司		
鈴木 圭		
上部団体派遣役員	春田 雄一	スズキ労組
	渡部 豪	
	池富 彰(新)	
	笠原 賞憲	
会計監査人	嶋津 吉宏	浜松パイプ労組
	中谷 順樹	遠州精工労組

新役員を向かえ、第39期がスタートしたスズキ労連執行部です。組織拡大を主に取り組んでいた事務局次長2名がその任を終了し役職名も新たに副事務局長とし2名体制となる一方で、組織人員が増加したスズキ販売労組からは新たに中央執行委員2名が加わり、上部団体との連携強化のために上部団体派遣役員を3名

体制とし、総勢30名の大所帯となりました。また、加藤会長、根木事務局長とともに専従会長、事務局長として継続いたします。

第39回定期大会において決定した運動方針の具体的な取り組みに向け、新役員を中心に労連加盟単組一丸となり活動の前進に全力で傾注していきたいと思っております。皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。



第40期スズキ労連新役員一同

ご苦労様  
でした!

## 退任役員功労表彰

長きに渡りスズキ労連の発展にご尽力いただき、今回の大会を期に退任される役員の方に対し、そのご功労に感謝と敬意を込めて表彰をいたしました。

<退任役員・功労表彰・特別表彰>

氏名:加藤 幸博  
 役員期間:27期～39期(1999.9～2011.9)  
 役職:会長(専従)3期・(非専従)8期  
 中央執行委員 2期  
 出身単組:スズキ浜松労働組合



退任役員の加藤 前会長よりご挨拶をいただきました。



古川 新会長より表彰される加藤 前会長(右側)